

【速報】米国との関税交渉の合意について

2025年7月23日 15:00時点 報道等まとめ

産業政策課

■合意内容概要

- 自動車・自動車部品関税は現在の25%から15%に引き下げ
- 相互関税は(8/1以降25%の見通しも)現在の10%から15%に引き上げ
- 日本側の関税引き下げはなく、コメは既存の「ミニマムアクセス」の枠内で輸入割合を増やす

■日本政府発表内容（石破総理記者会見要旨）

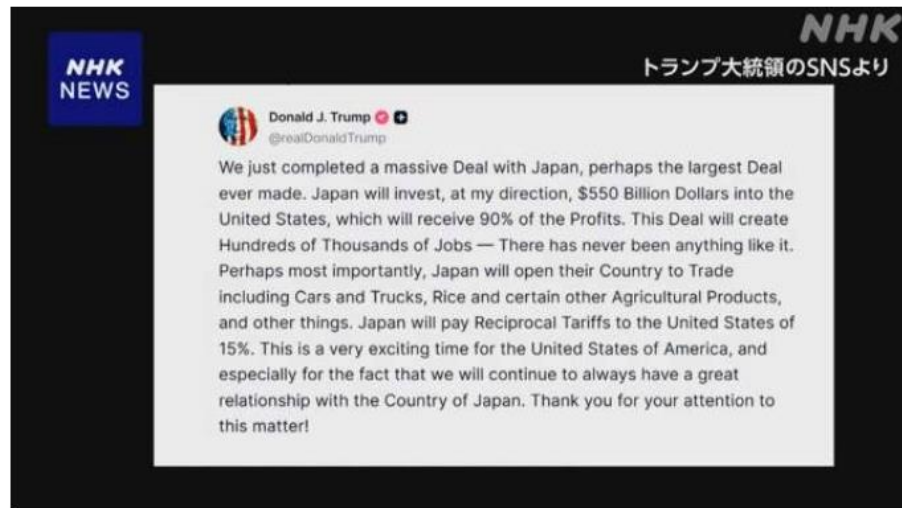
- ・関税措置に関する日米協議について、トランプ大統領との間で合意に至った
- ・自動車及び自動車部品は、25%の追加関税率を半減し、既存の税率を含め15%とする
ことで合意した（輸出数量制限なし）
- ・来月1日に25%が課されることになっていた相互関税は15%にとどめ、対米貿易黒字を抱える国の中でこれまでで最も低い数字となる
- ・半導体や医薬品など、経済安全保障上、重要な物資については、仮に将来、関税が課される
ことになった場合、日本が他の国に劣後する扱いとはならないよう確約を得た
- ・農産品を含め日本側の関税を引き下げること含まれていない
- ・コメについては既存の「ミニマムアクセス」の枠内において、日本のコメの需給状況なども勘案し
ながら輸入割合を増やす。農業を犠牲にする内容は一切含まれていない
- ・赤澤大臣帰国後、詳細な報告を受ける。よく精査していきたい

引用：NHK報道

■トランプ大統領SNS発表内容

・注目

◇トランプ大統領 SNS全文



われわれは日本との大規模な合意を締結した。

おそらく過去最大の合意だろう。

日本はわたしの指示のもと、アメリカに5500億ドルを投資し、その利益の90%をアメリカが受け取るだろう。この合意は数十万人の雇用を創出するだろう。

これはかつてない規模のものだ。

おそらく最も重要な点は、日本が自動車やトラック、コメやほかの農産物を含む貿易で国を開放することだろう。

日本はアメリカに対して15%の相互関税を支払う。

これはアメリカにとって特に日本との良好な関係を今後も維持する点で非常に喜ばしいことだ

日米関税交渉合意を受けた政府コメント（7/23 13:00時点）

石破総理 記者会見コメント

（トランプ大統領がSNSに投稿した、日本との関税交渉に15パーセントで合意したとの受け止めと、自動車は何パーセントで合意したのか、総理はかねてより「最後はトップ間で合意する」と言っていたが、近く訪米するのか、またはトランプ氏と電話で話をするのか）

後段からお答えすれば、必要に応じて、電話会談、あるいは対面での会談ということを行います。赤澤大臣から第一報は受けております。また、大統領、あるいは（ベッセント）財務長官、（ラトニック）商務長官との会談の前にも連絡はありました。必要な指示は出しておりますし、両者で、私と赤澤大臣の間で、方針に何ら齟齬（そご）はありません。

内容については、これから報告も受けます。そういうものを精査をして、いずれにしても2月から、国益をかけた交渉です、自動車、あるいは他の産品、国益をかけて、お互いに全力でぎりぎりの交渉をしてきました。それがこういう形になっていると思っています。我々政府として、国益を守るんだということ、そしてお互いに、日米が力を合わせて雇用を創出し、良いものを作り出すことで、これから先、世界にいろいろな役割を果たしていくということにも資するものになると、そのように考えております。

（先ほど「必要に応じて」とあったが、7月中旬に電話会談なり訪米するということか）

それは必要が生ずるかどうかです。ですから、これから、赤澤大臣から報告を受け、その内容を精査をして、その上で必要であればということを申し上げております。

（合意した場合に、自身の進退の判断について何か影響があるのか）

それは国益をかけた交渉をしているわけです。そして交渉ですから、中身ということをお話をするわけにも、軽々にはまいらないということです。この交渉の結果を受けて、どのように判断をするかということになりますが、その交渉の合意の内容ということをよく精査をしなければ、申し上げることはできません。

引用：首相官邸 ウェブサイト

赤澤経済再生担当相 コメント

「先ほどホワイトハウスでトランプ大統領を表敬し、およそ1時間10分にわたり関税措置について議論を行った結果、**日米間で合意**に至ることができた。トランプ大統領を表敬するまさに直前のタイミングで石破総理大臣と電話をし、最終的な指示をもらった上で協議に臨んだ」

「日米両国の国益に一致する形での合意を目指してきた結果、一筋縄ではいかず、とにかく簡単な交渉ではなかったが、**緊密な日米間の協議を通じて構築された相互理解と信頼関係を基礎として両国の国益に資する合意ができた**。大変喜ばしいことだ」

「羽田空港を離陸した時点でトランプ大統領とお目にかかることが決まっていたわけでは全くない。こちらに来てからラトニック商務長官やベッセント財務長官と協議した中で、大統領と会うことについて合意ができた」

「**日本の交通環境においても安全なアメリカ製の乗用車を追加試験なく受け入れることで合意**した。認証の手続きを簡素化するものだが、国民の安全・安心の確保は当然の前提になっている」

引用：NHK報道

日米関税交渉合意を受けた各党の反応（7/23 13:00時点）

立憲民主党

国益という観点から十分満足のいく合意なのかよく精査しなければいけない
（野田代表）

「本当に守るべきものを守ることができ、国益という観点から十分満足のいく合意内容なのか。よく精査しなければいけない」
「マーケットなど、あるいは業界団体の反応としては不確実性・不透明感がなくなったという安堵感はあるように思うが、今申し上げたようなところはよく吟味しなければいけないと思っている。例えば、自動車および自動車部品は15%ということだが、今、2.5%だから、6倍になることによるあの打撃はもちろんある」

引用：FNN報道 23日午後、記者団の取材で合意についてコメント

公明党

政府と連携しつつ、迅速な情報収集と適切な対応を推進（斉藤代表）

**斉藤てつお (公明党)** @saitotetsuo · 3時間

公明党は、国民生活と日本経済への影響を第一に考え、政府と連携しつつ、迅速な情報収集と適切な対策を推進します。

**斉藤てつお (公明党)** @saitotetsuo · 4時間

先ほど、「日米の関税交渉が合意し、相互関税が15%になるとトランプ大統領が自身のSNSで表明した」とのニュース速報がありました。今後の日本政府の公式見解を注視したいと思います。

18

199

663

1.2万

引用：Xアカウント

国民民主党

詳細は精査する必要があるものの、15%でまとめたことは評価（玉木代表）

**玉木雄一郎 (国民民主党)** @tamakiyuichiro · 1時間

- ・自動車・部品も15%
- ・米国からのコメの輸入拡大もミニマムアクセスの範囲内

この内容は、GJと言えるだろう。
赤沢大臣お疲れ様でした。

ただ、投資のうち利益の90%を米側が得るとの意味はよく分からない。

この点は、さらに精査したい。

それと、鉄鋼・アルミの関税は50%のまま。

**玉木雄一郎 (国民民主党)** @tamakiyuichiro · 3時間

15%でまとめたことは評価したい。
他方、精査すべき点がある。特に、

- ①自動車の分野別関税25%も15%に下がるのか。
- ②341円/kgのコメの関税はゼロになるのか。

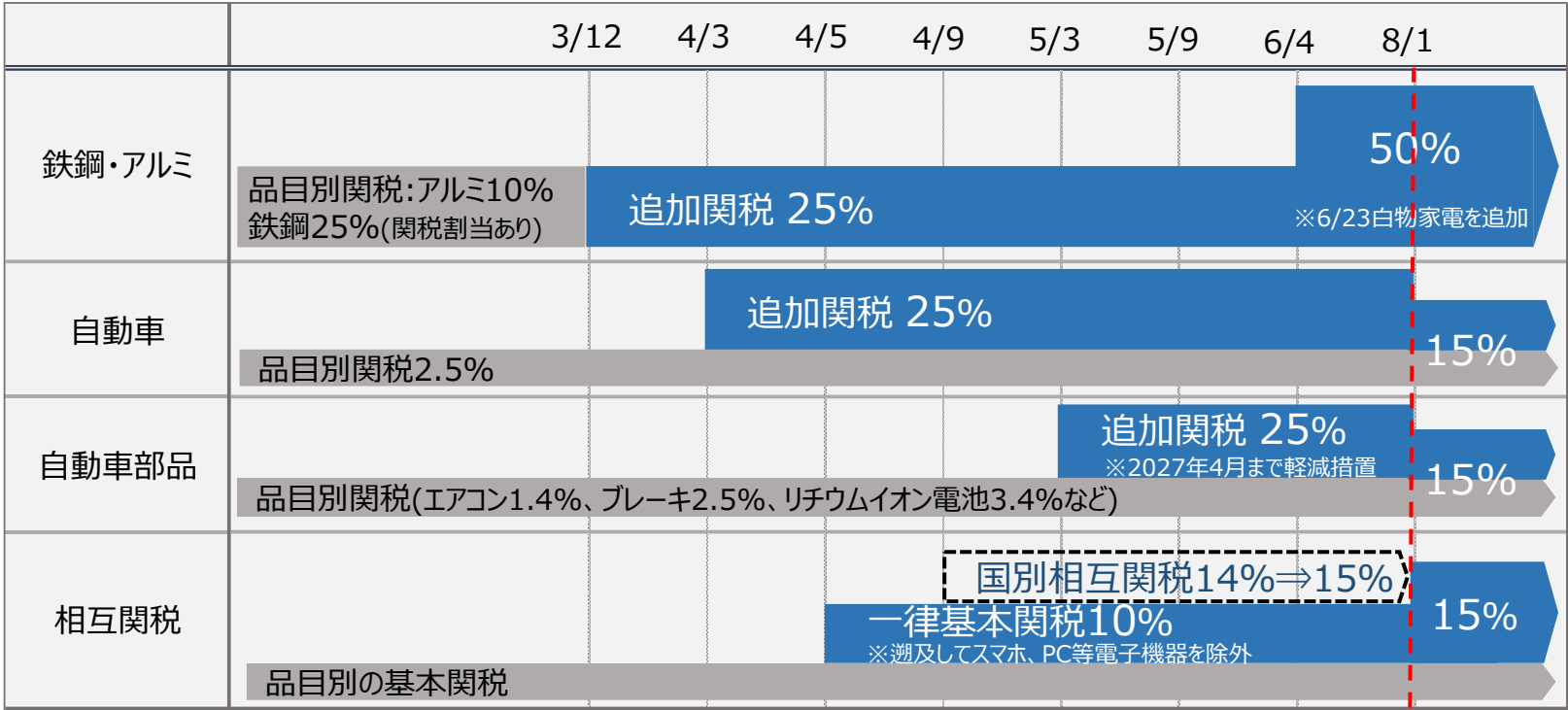
これまでの協定との整合性も問われる。政府に説明を求めている。

“日米関税交渉で合意 相互関税15%”

引用：Xアカウント

【参考】米国による日本への関税措置（これまでの経緯）

第2次トランプ政権以降の関税措置 7/23時点
報道等の情報を産業政策課でまとめたもの



合意内容の発効時期は
現時点で不明

米国政府による 関税導入に 向けた調査	調査開始時期	対象品目
	2025年3月～	銅、木材
	4月～	半導体、医薬品、重要鉱物、中型・大型トラック
	5月～	民間航空機（部品を含む）